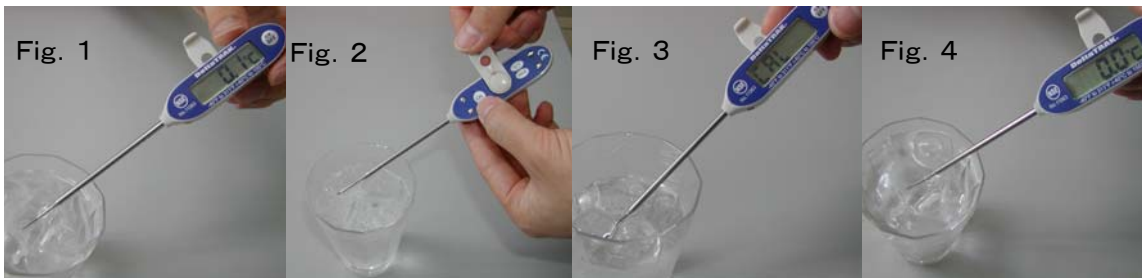


## デジタルプローブ温度計自動温度校正方法

1. カップにクラッシュアイスと水を加えてください。プローブチップが温度校正中に氷水の中に浸漬されるようにしてください。（ご注意：温度校正を厳密に行なうには、蒸留水と蒸留水で作られた氷のご使用をお勧めします。）
2. 温度計の電源をいれて本体裏側の“摂氏°C/華氏°F切り替えスイッチ”を用い、摂氏（°C）のスケールに設定して下さい。
3. 本体裏側の“CAL”のボタンが見えるようにポケットクリップを回して下さい。
4. プローブチップをカップの真ん中に入れ、チップ先端が氷水に浸漬されるように入れて 15 秒間かき混ぜてください。プローブがカップの端に接触しないようご注意ください。（Fig. 1を参照して下さい）。
5. プローブチップを完全に浸漬している間に、“CAL”ボタンを 2 秒間押し続けてください（Fig. 2を参照して下さい）。“CAL”の表示がLCD画面に表示されます（Fig. 3を参照して下さい）。
6. この手順を行なっている際“CAL”がLCD画面に表示されてから、温度計は自動で以下の操作を行います：
  - a. 安定した一連の数値を記録できるまで数値の読み込みを行います。
  - b. 最後に 3 点の読み込んだ数値を“C”の表示の前にLCDに表示します。
  - c. 温度校正が終わると、通常の測定にご使用いただけます。（Fig. 4を参照して下さい）。



### 注意点：

“Err1”がLCD画面に表示された場合、氷水の状態が不安定で 0°Cに安定しないことを示します。消去するには、温度計の電源を切りもう一度電源を入れて下さい。60 秒間氷水が安定するまで待ち、温度校正をもう一度行って下さい。

“Err2”がLCD画面に表示された場合、平均の読み込み数値が $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$ の公差を超えていることを示します。消去するには、温度計の電源を切りもう一度電源を入れて下さい。

Err 1



Err 2

